作業船用

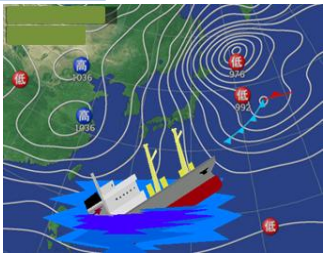
冬期の海難防止のために

東北地方では、荒天が続く冬期に、気象・海象に対する不注意による海難の発生件数が多くなっています。最新の気象情報を早期に入手し、早めの避泊と係留強化を行うなど、荒天に備えた適切な対応を心がけましょう！迎える

また、降雪等により視界が制限される場合も多いので、常時・適切な見張りを徹底しましょう！

☆ 最新の気象・海象情報を早期に入手していますか？

荒天への対応は、早めに行うことが肝心です。
そのために、最新の気象・海象情報を早期に入手しましょう。



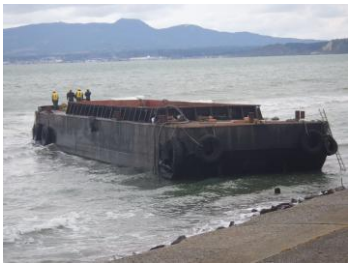
☆ 早期避難、荒天対策を実施していますか？



荒天が予想される場合は、早めの避泊や入港を心がけましょう。
長距離曳航作業時は、事前に避泊地を選定しておきましょう。
また、荒天になる前に、余裕をもって荒天対策等を行いましょう。

・係留の強化　　・積荷の飛散防止
・定期的な係留状況の確認
・安全な場所への移動　・隣接港等への避難

☆ 避泊地の選定は適切ですか？



作業台船や運動性能が劣る作業船は、荒天時の走錨に対する対応が困難になります。
荒天が予想される場合、避泊地を適切に選定し、あらかじめ安全な港湾等に避難しましょう。

☆ 見張りを適切に実施していますか？



他船との衝突を防止するため、航海中は、目視のほかレーダーやAIS等を適切に使用するとともに、降雪等により視界が悪い場合は見張りを増員するなどして、常時周囲の見張りを適切に行いましょう。

海の安全情報
Maritime Information and Communication System

最新の気象・海象情報、海上工事情報など、海の安全に関する情報をインターネット等で提供しています。

海のもしもは１１８番

JCG 秋田海上保安部